

# み光のもと

第333号 2023年  
令和5年1月22日  
法福寺 宗玄寺

明けましておめでとうございます  
今年もよろしく申し上げます

年末年始は 例年になく暖かな日が続き、お正月の準備をするのも、片付けをするのも楽でした。

今年は親鸞生誕850年、立教開宗800年になります。親鸞さんが生まれられたのは鎌倉時代です。

今年は本山で「慶讃法要」が3月25日から4月29日にかけて行われます。全国の末寺でも慶讃法要が計画されていますが、宗玄寺では秋の報恩講に兼ねて行いたいと住職が考えております。

門前や鐘撞堂に消毒液 除夜の鐘さらに清浄に響け つやこ

1月 2月 のご案内	
法福寺	宗玄寺
1/27(金) お速夜法要 19:30	1/28(土) ご命日の集い 19:30
2/27(月) お速夜法要 19:30	2/28(火) ご命日の集い 19:30

## ご寄進がありました

藤田智規さんより20万円 おとうさんのご供養としてご寄進がありました。

仏具、衣体の充実資金にあてさせていただきます。  
ありがとうございました。

## 谷口義昭さん

12/25 84歳で亡くなりました。

器用で、工作が好きな方でした。本堂に掲げてある恩徳讃は板に文字をコピーして彫った、手の込んだ立派な物です。

11月の法要に、「正月用の松はよう切らんようになった。役員も代わってもらえた」と、安堵されたようでしたが、それが最期の言葉になりました。

謹んでお悔やみ申し上げます。

## 令和4年の大晦日の鐘撞き終えて

あの突然の悲しみから、早30年の月日が過ぎ去ったのだと身に沁みる思いでした。長男12歳、次男5歳、数時間前まで食卓を囲み会話していたのに、深夜に苦しみあっけなく逝ってしまいました。

篠山に居を構えて日も浅く、土地のことも知らず、茫然としていましたが、主人の職場の方々や家族のおかげで無事見送る事ができました。その時、宗玄寺のご住職とのご縁をいただきました。

長男は中学校の先生に新聞配達のアパートをして家族を助けたいと申し出たのですが、わたしは「そんなことより勉強が大事」と一喝しました。

なぜ長男の志を無にしたのかと今でもずっと自責の念を感じています。

その後「ご命日の集」に参加させていただき、ご住職のお話の中で

○清めの塩は必要ない（死は不浄ではない）

○草葉の陰でみている

○真宗は生きている人間の為の宗教

この言葉が深く心に残っていますし、生きる意義も教えていただきました。日々の生活の中で愚痴をこぼすことも多々ありますが、年一回の鐘撞きの行事は心が洗われ、とても清々しい気持ちで新年を迎えることに感謝しております。

ご縁をいただきありがとうございます。

坂の下節子

大阪の守口から毎年大晦日に除夜の鐘を撞きに来られる方です。時には、お母さんと、ある年には妹さんとお越しになられ、次男とは毎年一緒に来られ、大晦日は住吉台の妹さん宅で過ごされます。毎年お会い出来るのを楽しみに待っています。

当日はゆっくりお話も出来ませんので、原稿をお願いしましたが、ゆっくりお出合い出来れば、いろんなお話も出来るのに、まだ現役でお勤めつとめですから、どうぞお元気でお過ごしなられますよう念じております。ご寄稿ありがとうございました。

生かさるる  
いのち尊し  
けさの春

鬼は外福は内  
私の身勝手が  
豆をまく